

高知県東部地域における CST 活動

—地域に根ざした CST 活動を目指して—

○小松 武志 A・明崎 友理子 B・北村 雅夫 C・高橋 和久 D・山中 真実 E

KOMATSU Takeshi・AKEZAKI Yuriko・KITAMURA Masao・TAKAHASHI Kazuhisa・YAMANAKA Mami

高知県東部教育事務所 A, 香南市立夜須中学校 B, 香美市立舟入小学校 C,

香美市立片地小学校 D, 安芸市立安芸第一小学校 E

【キーワード】CST 活動, CST 抱点校, 地域活動, 理科教育ネットワーク

1 はじめに

高知県東部地域では小規模校が多いため、理科教師同士がお互いの授業実践にかかる情報を交換できる機会が限られている。だからこそ、地域の理科教育を推進するリーダーとして CST の果たす役割は非常に大きいと考えている。そこで昨年度から「地域に根ざした CST 活動」をテーマとして、理科教員の資質向上に向けての取組を行ってきた。昨年度は東部地域の CST 抱点校に勤務し、CST 活動として公開授業研修や様々な研修会を企画・運営してきたが、今年度は指導主事として、東部地域の小中学校の理科教育力の向上に向けて取組んでいることから、本発表では、東部地域の理科教員による相互支援の体制を作り、地域の理科教育ネットワーク構築に向けた取組みについて報告する。

2 CST 活動について

CST 抱点校では、次の指針に沿って CST 活動の企画・運営を行った。

(1) ともに授業力を高めるための授業公開と公開研究協議

・CST としての「授業観」や「理科教育に対しての考え方や取り組みに」について、地域の理科教員に対して紹介し、地域教員との連携を図る活動を実施。

(2) 地域の自然を教材かし、広める：大学と連携した地域教材の活用の講習会

・地域教材の紹介、授業活用方法の提案：
安田町唐浜化石採集場での学習会



(3) 教員の意識向上をめざす研修方法の提案

・ICT や電子黒板の効果的な活用における授業実践の紹介や模擬授業など実践で活用できる研修内容を企画。

- 1)ICT 教材の活用等
- 2)模擬授業
- 3)実験講習会



3 活動を通して

昨年度、CST 活動を 7 回、参加教員数は延べ 50 名程度であった。そこで感じた事は、研修の機会を設けることの必要性である。特に小学校の教員に対しては、模擬授業や実験講習会の実施が好評であった。「理科の授業や教材についてわからないことがあれば、CST の先生に相談すれば良い。」という声が聞かれるようになってきたのは、活動の成果であると言えるだろう。

4 今後の展望

今年度の東部地区の CST 認定者は、中学校 2 名、小学校 3 名で、各教員が校区内での CST 活動に取組んでいる。また今年度の受講者は、中学校 1 名、小学校 2 名となり、今後は 8 名による組織的な活動が可能となると共に、その必要性を感じている。

そこで今後の取組として、高知 CST 協会東部支部を立ち上げ、お互いの活動の情報を一元化し、情報交換や活動のサポート体制を整えて組織的な活動に取組みたい。そうすることで、我々の CST 活動をより一層周知し、大学と委員会との連携を図りながら、東部地域の理科教員による相互支援の理科教育ネットワークを広げることを目指したいと考えている。